

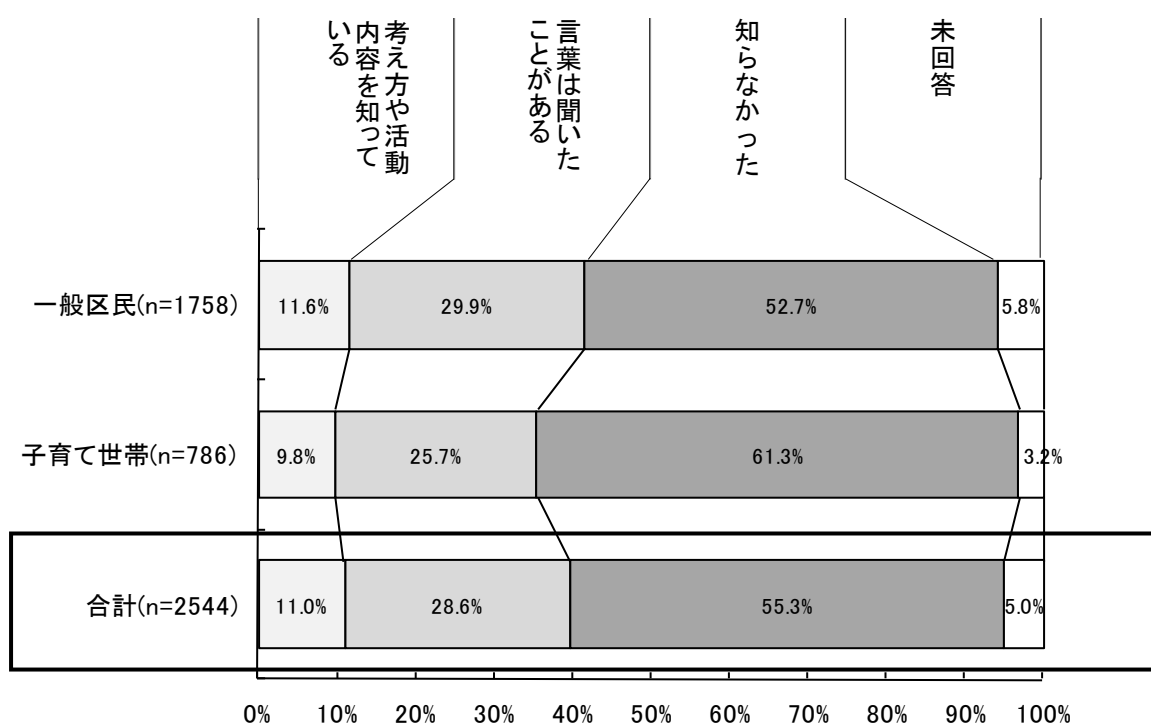
Ⅱ. 調査結果

第1章 セーフコミュニティ活動について

1 問1 活動の認知度

- セーフコミュニティ活動について、「考え方や活動内容は知っている」は1割だが、「言葉は聞いたことがある」を合わせると、4割の区民がセーフコミュニティを認知している。
- 一般区民と子育て世帯では、子育て世帯の方が「知らなかった」と回答した割合が幾分多い。

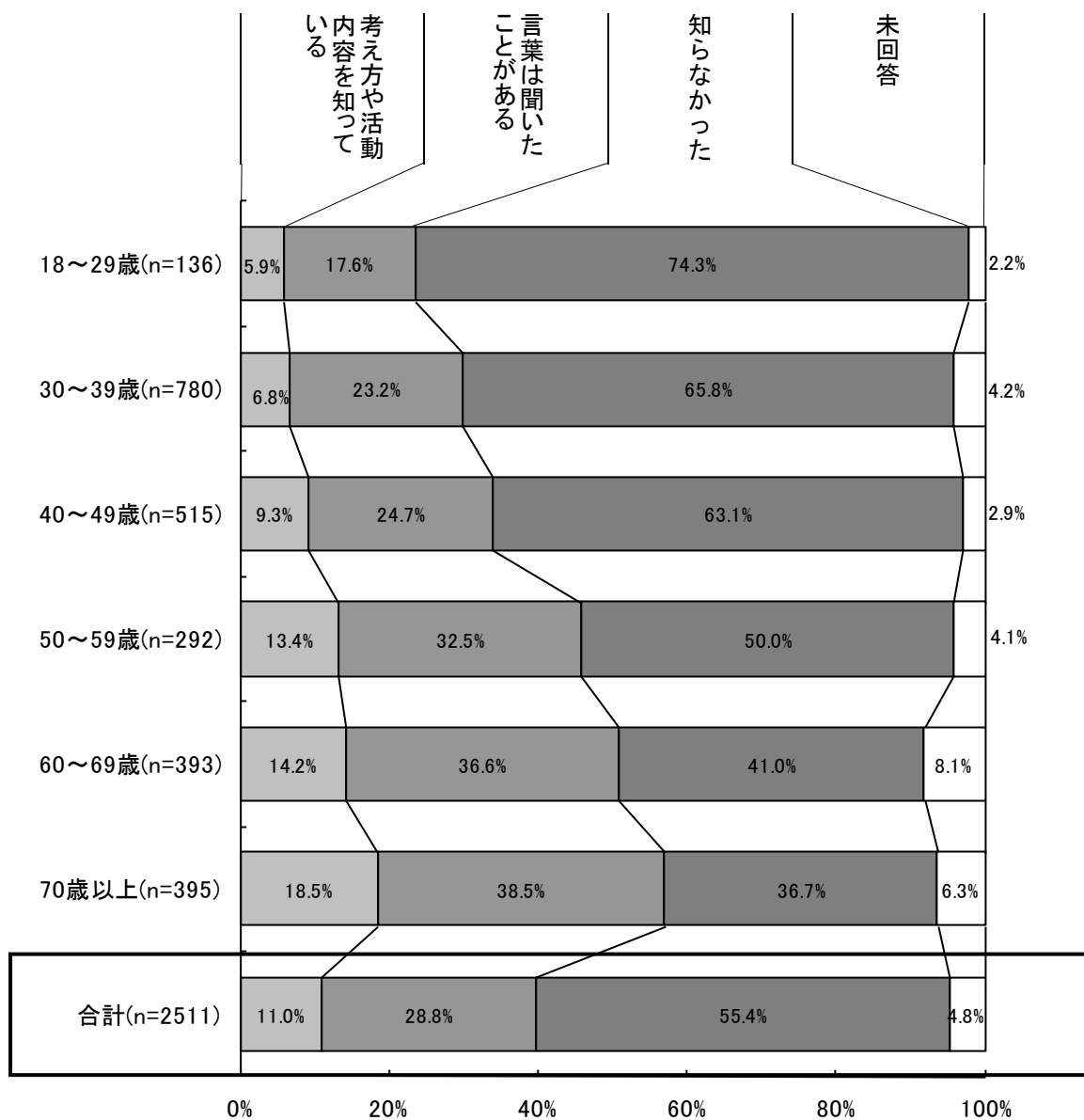
問1 豊島区のセーフコミュニティ活動を知っていましたか(1つ選択)



【年齢層別】の集計

- 年齢層別では、若いほど「知らなかった」と答えた割合が多く、年齢層が上がるほど「考え方や活動内容を知っている」と「言葉は聞いたことがある」を合わせた割合が多くなっている。

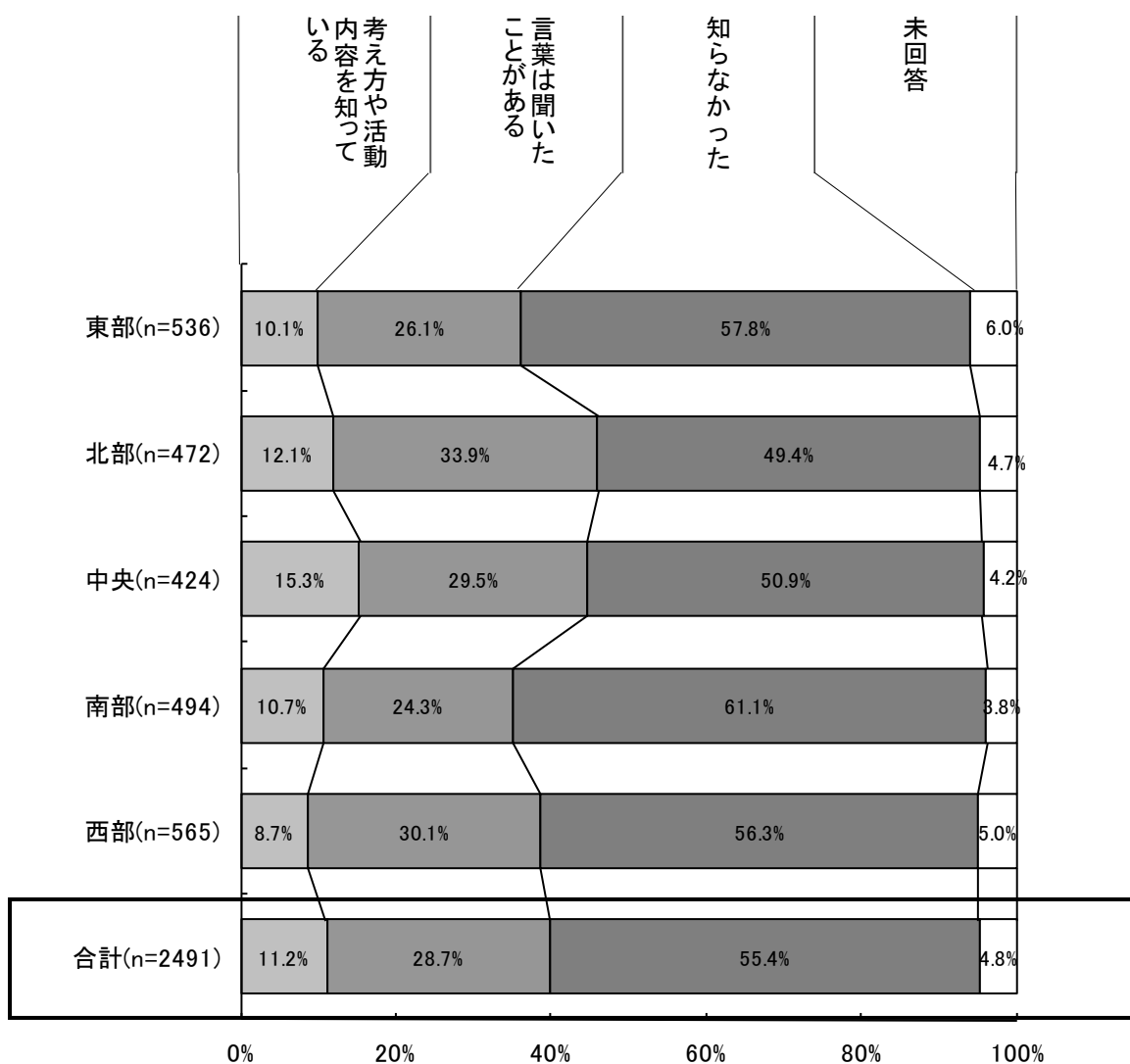
問1 豊島区のセーフコミュニティ活動を知っていましたか(1つ選択)



【地域別】の集計

- 地域別では、「考え方や活動内容を知っている」と「言葉は聞いたことがある」を合わせた回答は、北部地域(46%)と中央地域(45%)で高くなっている。
- 認知度が高い北部地域と中央地域では、池袋本町地区と上池袋地区におけるセーフコミュニティのモデル的な取り組み、朋有小学校の学区域におけるセーフスクールの活動が行われている。

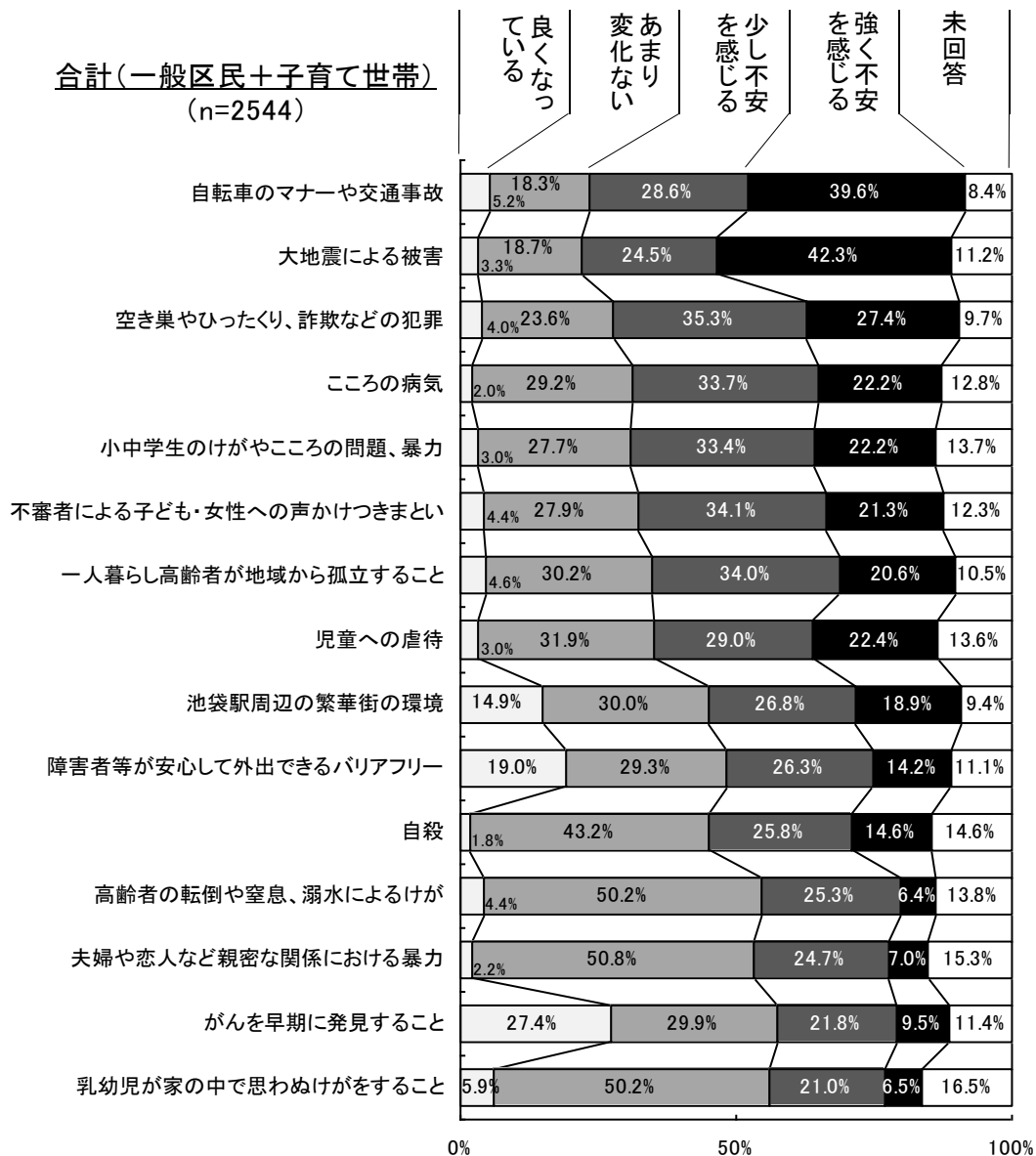
問1 豊島区のセーフコミュニティ活動を知っていましたか(1つ選択)



2 問 2-1 重点テーマに関する安心感の変化

- セーフコミュニティ活動の重点テーマに関して、以前と比べてどのように変化しているか聞いたところ、「自転車のマナーや交通事故」と「大地震による被害」に対して4割前後が「強く不安を感じる」と回答しており、「少し不安を感じる」を合わせると7割近くに達している。
- 一方、「良くなっている」では、「がんを早期に発見すること」(27.4%)が目立ち、ついで「障害者等が安心して外出できるバリアフリー」(19.0%)「池袋駅周辺の繁華街の環境」(14.9%)が続いている。

問 2-1 重点テーマについて、以前と比べてどのように変化していると感じていますか(1つ選択)

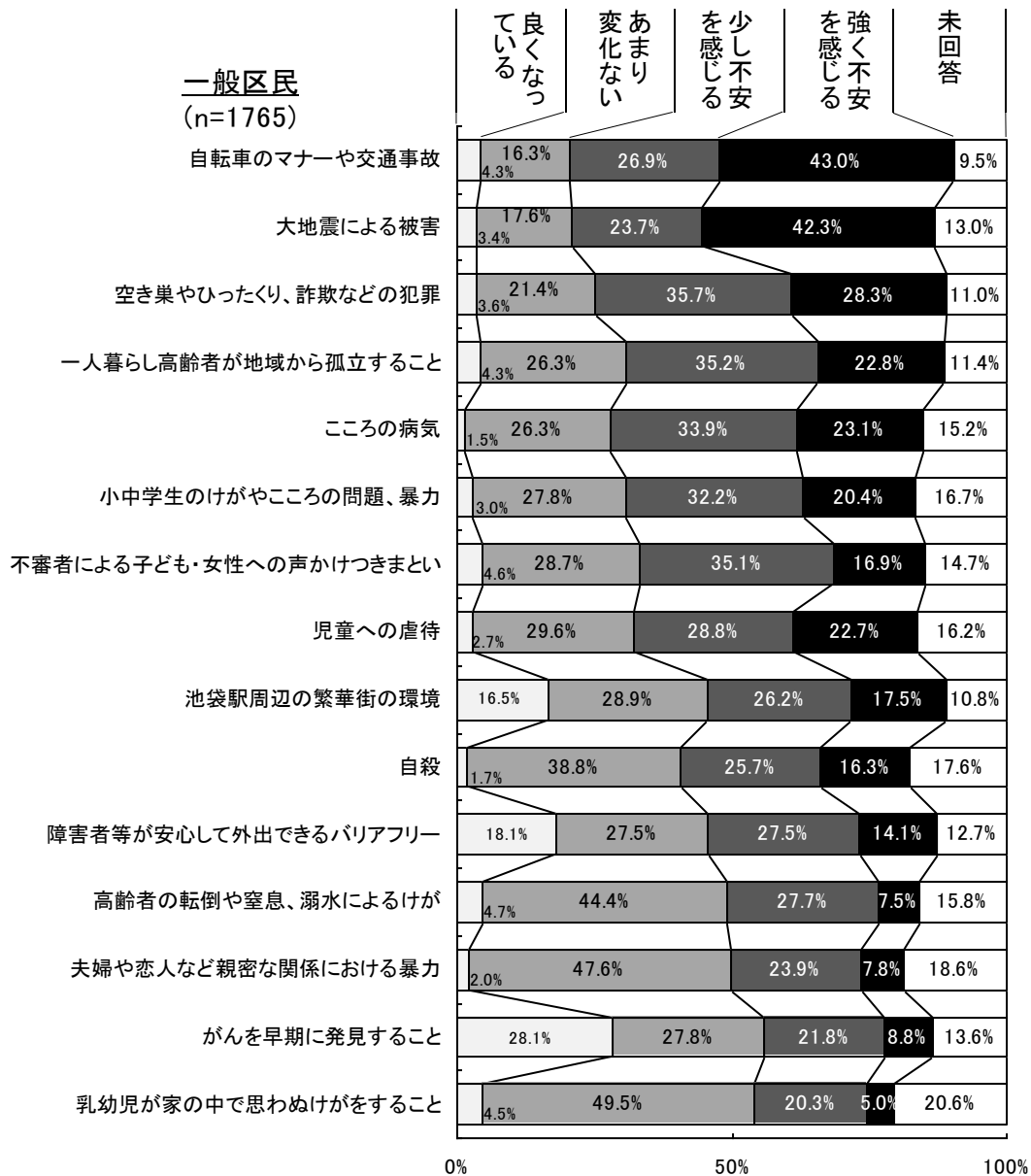


*[強く不安を感じる+少し不安を感じる]のスコアが大きい順に並べた

【一般区民】の集計

- 一般区民においては、「自転車のマナーや交通事故」「大地震による被害」に対して「強く不安を感じる」と回答した割合はともに4割を超え、「少し不安を感じる」を合わせると6割台後半から7割近くに達している。
- 「良くなっている」では、「がんを早期に発見すること」(28.1%)が目立ち、ついで「障害者等が安心して外出できるバリアフリー」(18.1%)「池袋駅周辺の繁華街の環境」(16.5%)が続いている。

問 2-1 重点テーマについて、以前と比べてどのように変化していると感じていますか(1つ選択)

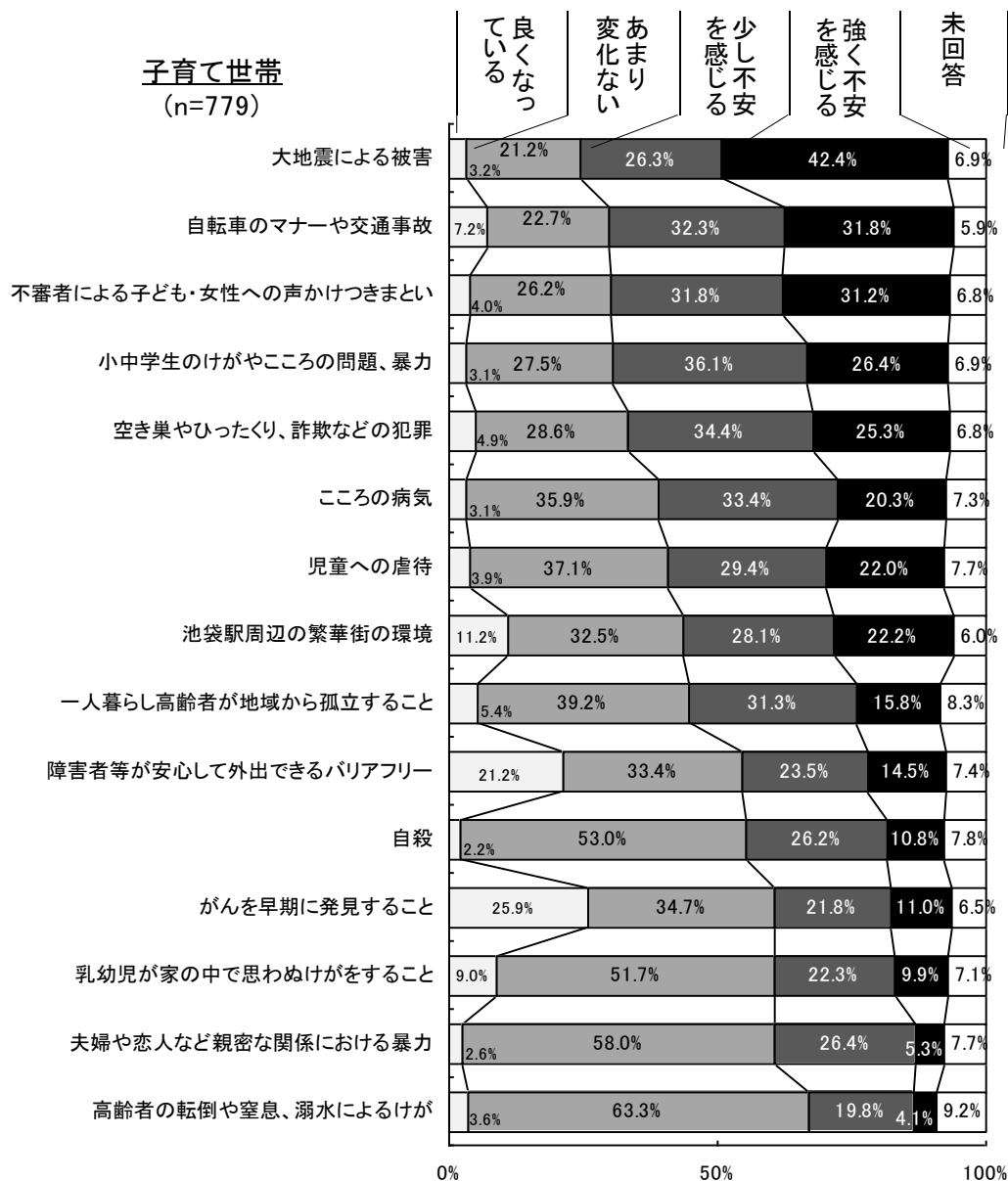


* [強く不安を感じる+少し不安を感じる]のスコアが大きい順に並べた

【子育て世帯】の集計

- 子育て世帯においては、「強く不安を感じる」と回答した割合が4割を超えたのは「大地震による被害」のみで、「自転車のマナーや交通事故」と「不審者による子ども・女性への声かけつきまとい」が3割強で次いでいる。
- 「良くなっている」では、「がんを早期に発見すること」(25.9%)の数値が最も高く、「障害者等が安心して外出できるバリアフリー」(21.2%)「池袋駅周辺の繁華街の環境」(11.2%)が続いている。

問 2-1 重点テーマについて、以前と比べてどのように変化していると感じていますか(1つ選択)

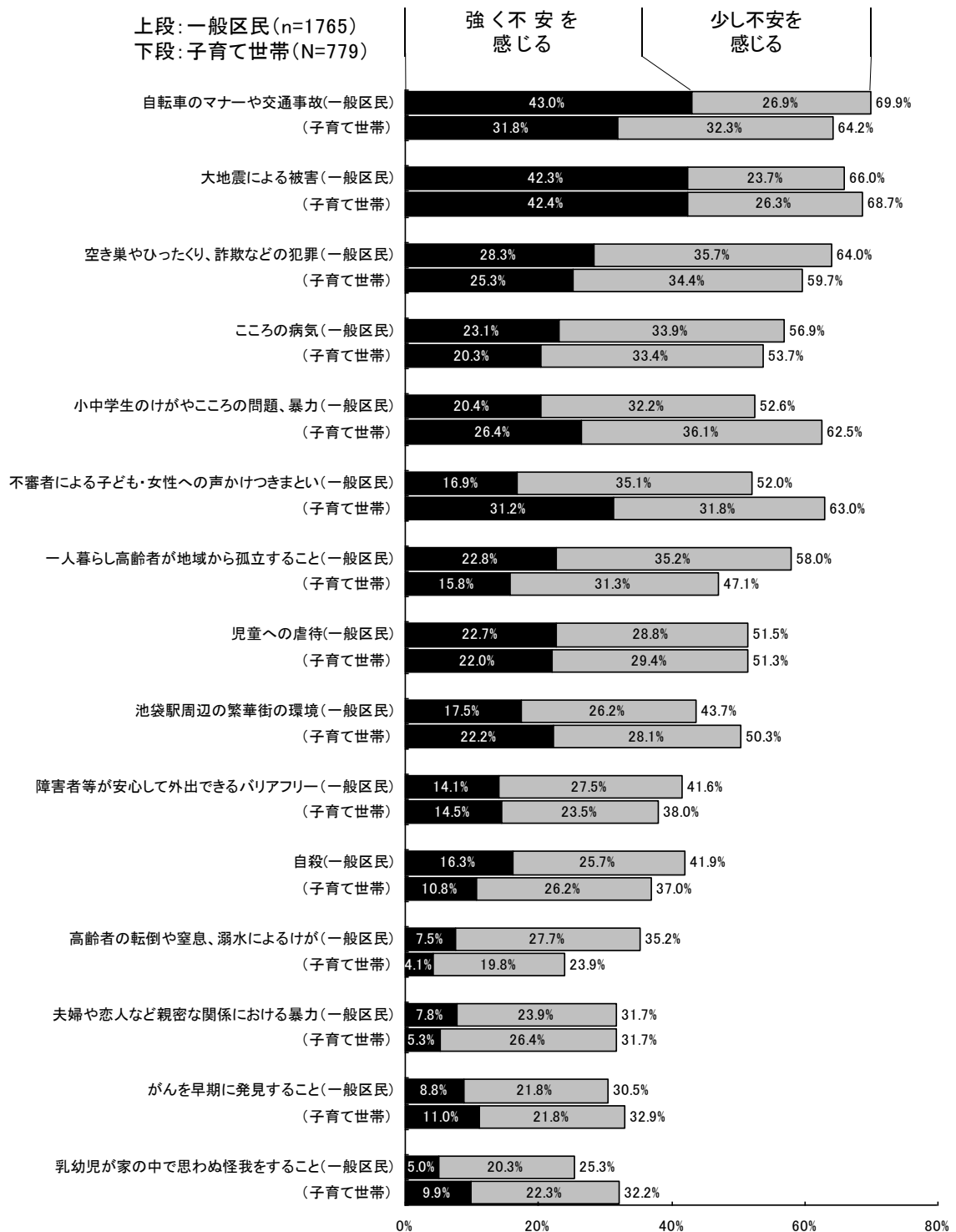


* [強く不安を感じる+少し不安を感じる]のスコアが大きい順に並べた

【一般区民と子育て世帯】の集計(不安感のみ抽出)

- 「強く不安を感じる」と「少し不安を感じる」を取り出して一般区民と子育て世帯を比較したところ、一般区民の方が子育て世帯よりも不安感が強く現れたテーマは「自転車のマナーや交通事故」「一人暮らし高齢者が地域から孤立すること」などとなっている。
- 子育て世帯の方が不安感を強く感じているテーマは「小中学生のけがやこころの問題、暴力」「不審者による子ども・女性への声かけつきまとい」などとなっている。

問 2-1 重点テーマについて、以前と比べてどのように変化していると感じていますか(1つ選択)

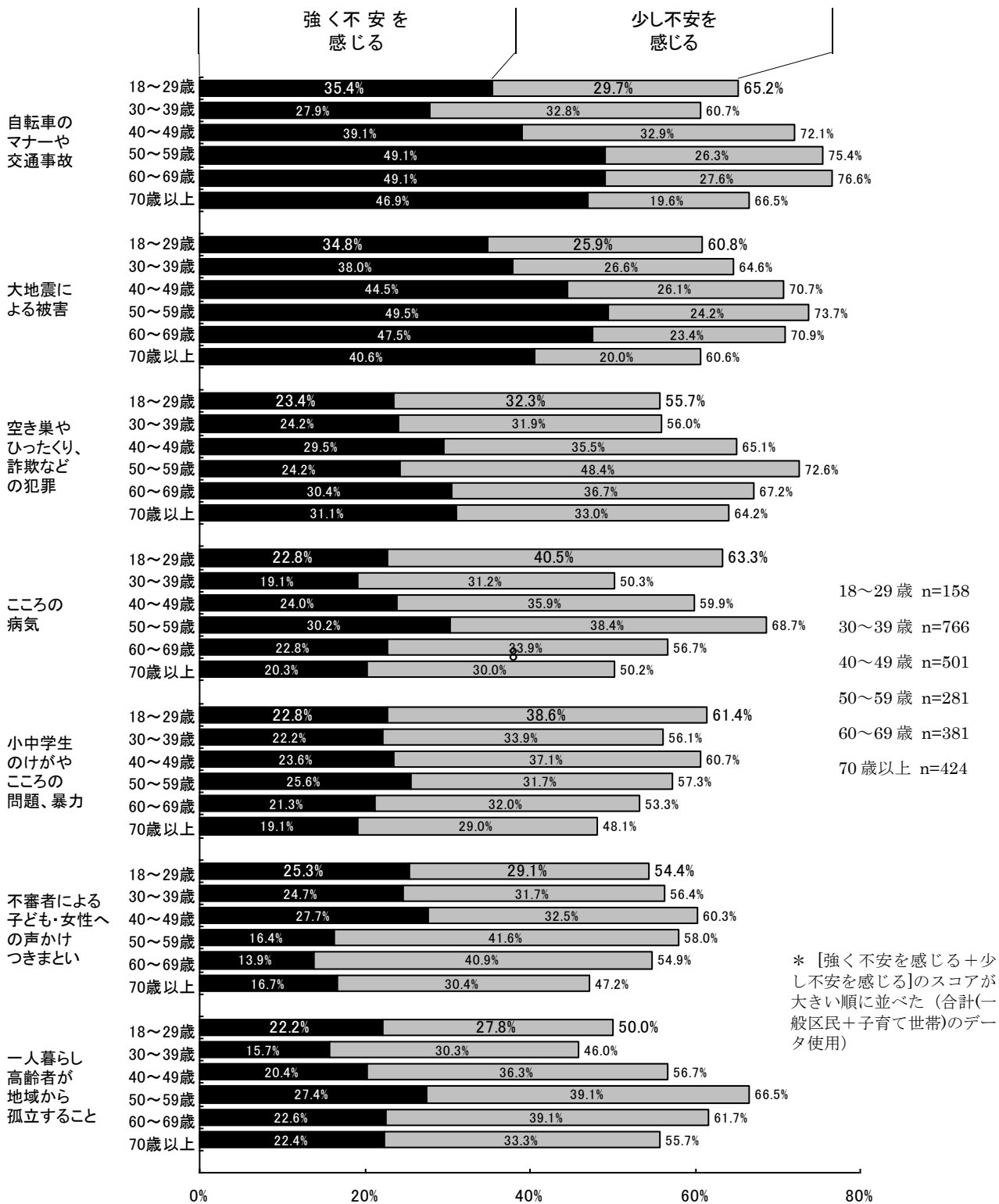


* [強く不安を感じる+少し不安を感じる]のスコアが大きい順に並べた (合計(一般区民+子育て世帯)のデータ使用)

【年齢層別】の集計(不安感のみ抽出)

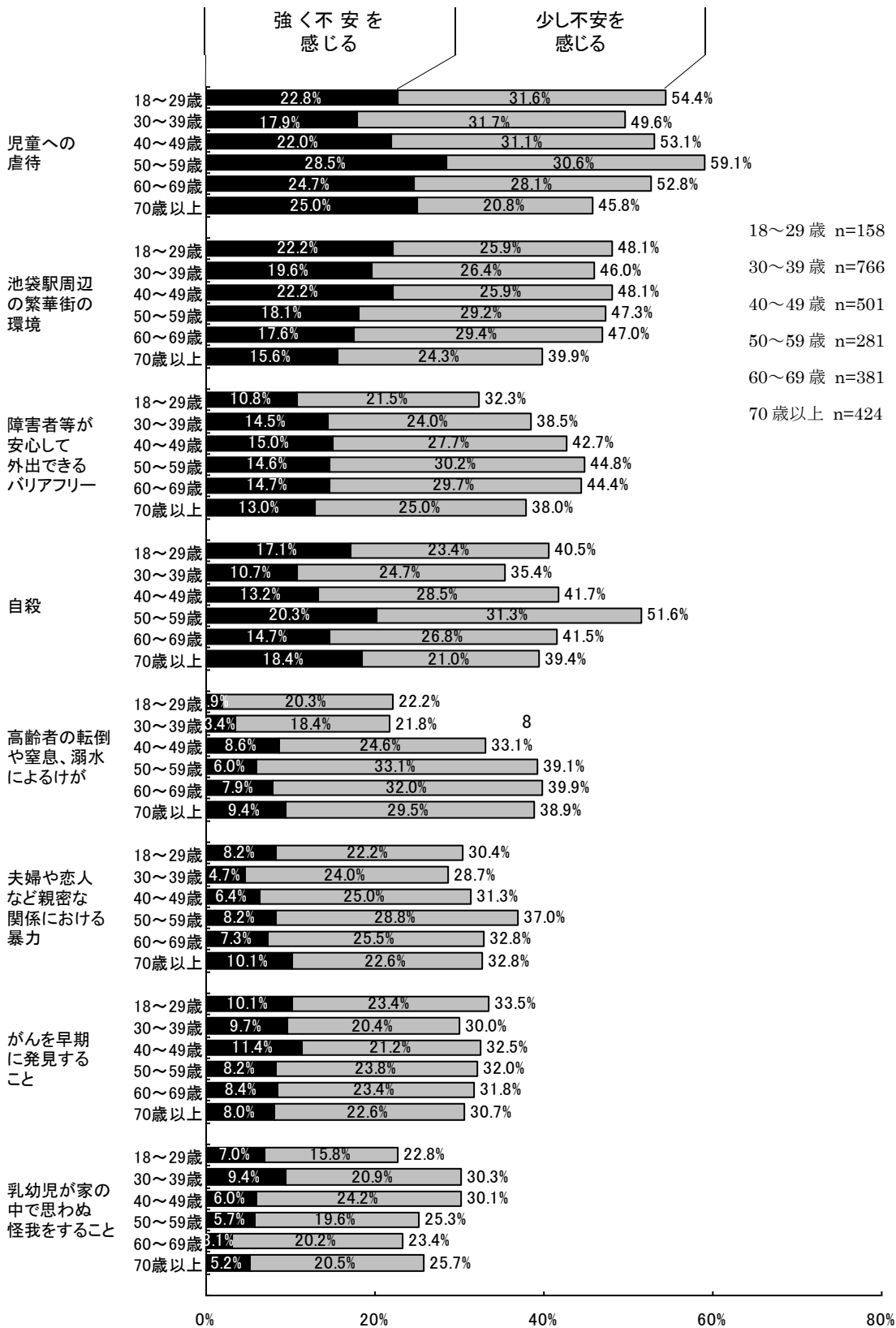
- 「強く不安を感じる」と「少し不安を感じる」を取り出して年齢層別にみたところ、「自転車のマナーや交通事故」「大地震による被害」などは、40～60歳代の不安感が強い傾向がみられ、50～60歳代の「強く不安を感じる」のスコアが大きくなっている。
- 「不審者による子ども・女性への声かけつきまとい」については、40歳代以下の「強く不安を感じる」のスコアが相対的に強い傾向がみられる。

問 2-1 重点テーマについて、以前と比べてどのように変化していると感じていますか(1つ選択)



* [強く不安を感じる+少し不安を感じる]のスコアが大きい順に並べた(合計(一般区民+子育て世帯)のデータ使用)

【年齢層別】の集計(不安感のみ抽出)～前頁からの続き

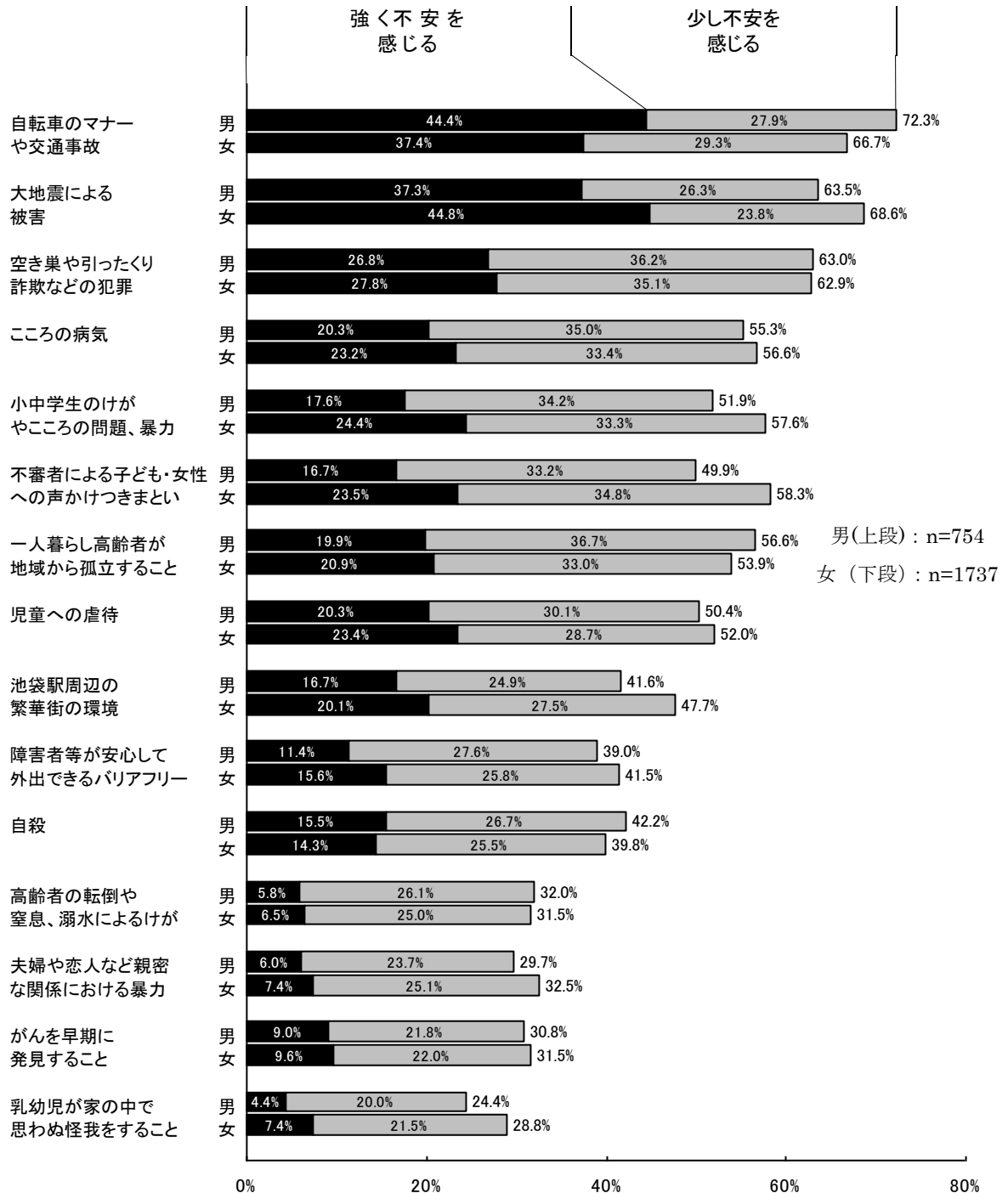


* [強く不安を感じる+少し不安を感じる]のスコアが大きい順に並べた (合計(一般区民+子育て世帯)のデータ使用)

【性別】の集計(不安感のみ抽出)

- 性別では、「大地震による被害」「小中学生のけがやこころの問題、暴力」「不審者による子ども・女性への声かけつきまとい」などについて女性の不安感が強い傾向がみられる。

問 2-1 重点テーマについて、以前と比べてどのように変化していると感じていますか(1つ選択)

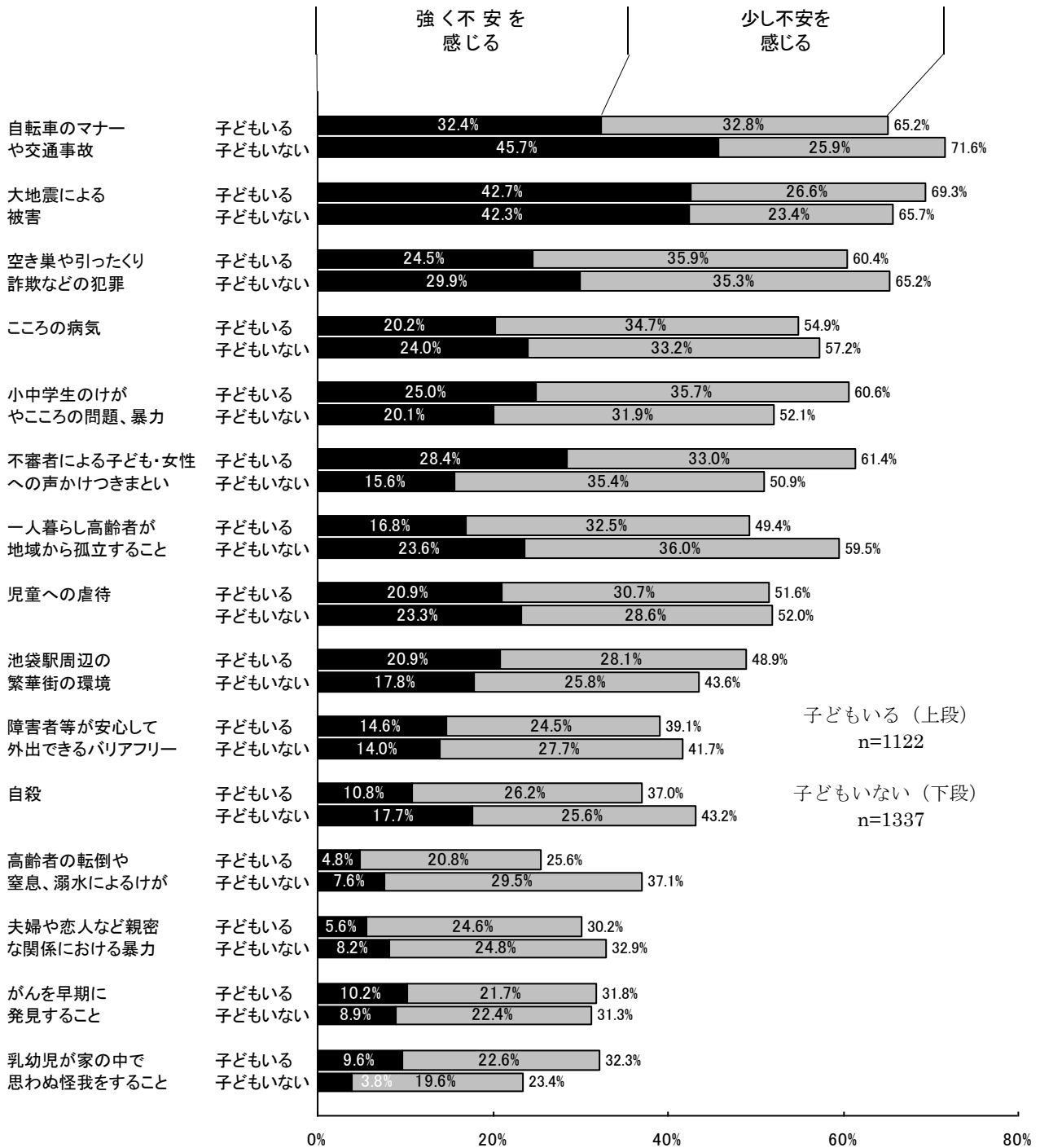


*合計(一般区民+子育て世帯)の[強く不安を感じる+少し不安を感じる]のスコアが大きい順に並べた)

【子どもいる/いない別】の集計(不安感のみ抽出)

- 子どもがいる/いない別では、「不審者による子ども・女性への声かけつきまとい」や「小中学生のけがやこころの問題、暴力」などについて“子どもいる”の方が不安感が強い傾向がみられる。
- 「自転車のマナーや交通事故」については“子どもいない”の方が「特に不安を感じる」のスコアが大きくなっている。

問 2-1 重点テーマについて、以前と比べてどのように変化していると感じていますか(1つ選択)



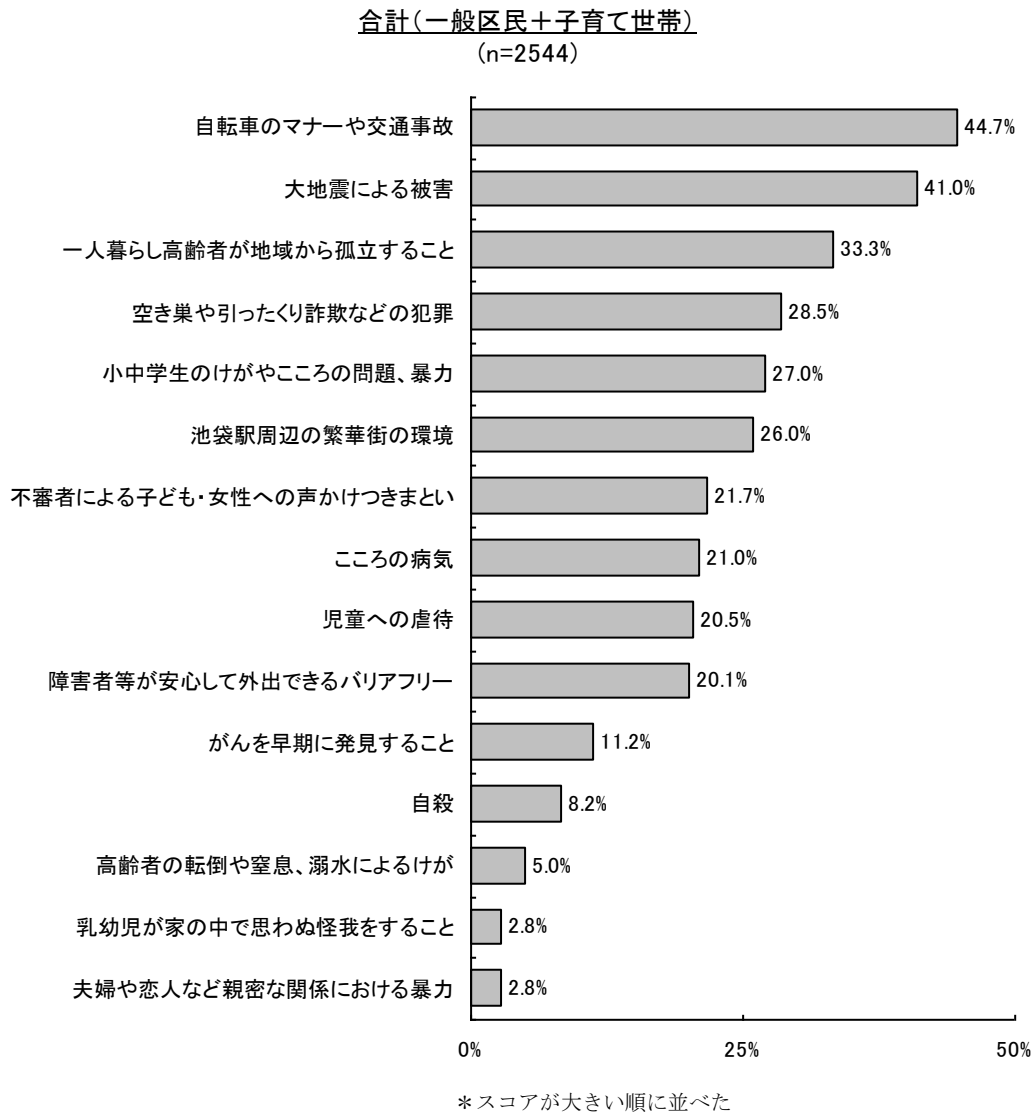
* 合計(一般区民+子育て世帯)の[強く不安を感じる+少し不安を感じる]のスコアが大きい順に並べた。

* “子ども”は、“高校生以下の子ども”を意味する (以降も同様)。

3 問 2-2 重点テーマに関するこれからの優先度

- セーフコミュニティ活動の重点テーマについて、これから先、特に改善が必要と感じることを5つまで選んでもらったところ、「自転車のマナーや交通事故」が4割台半ばと最も多く、ついで「大地震による被害」「一人暮らし高齢者が地域から孤立すること」が続いている。

問 2-2 これから先、特に改善が必要と感じることは、どのテーマですか(5つまで選択)

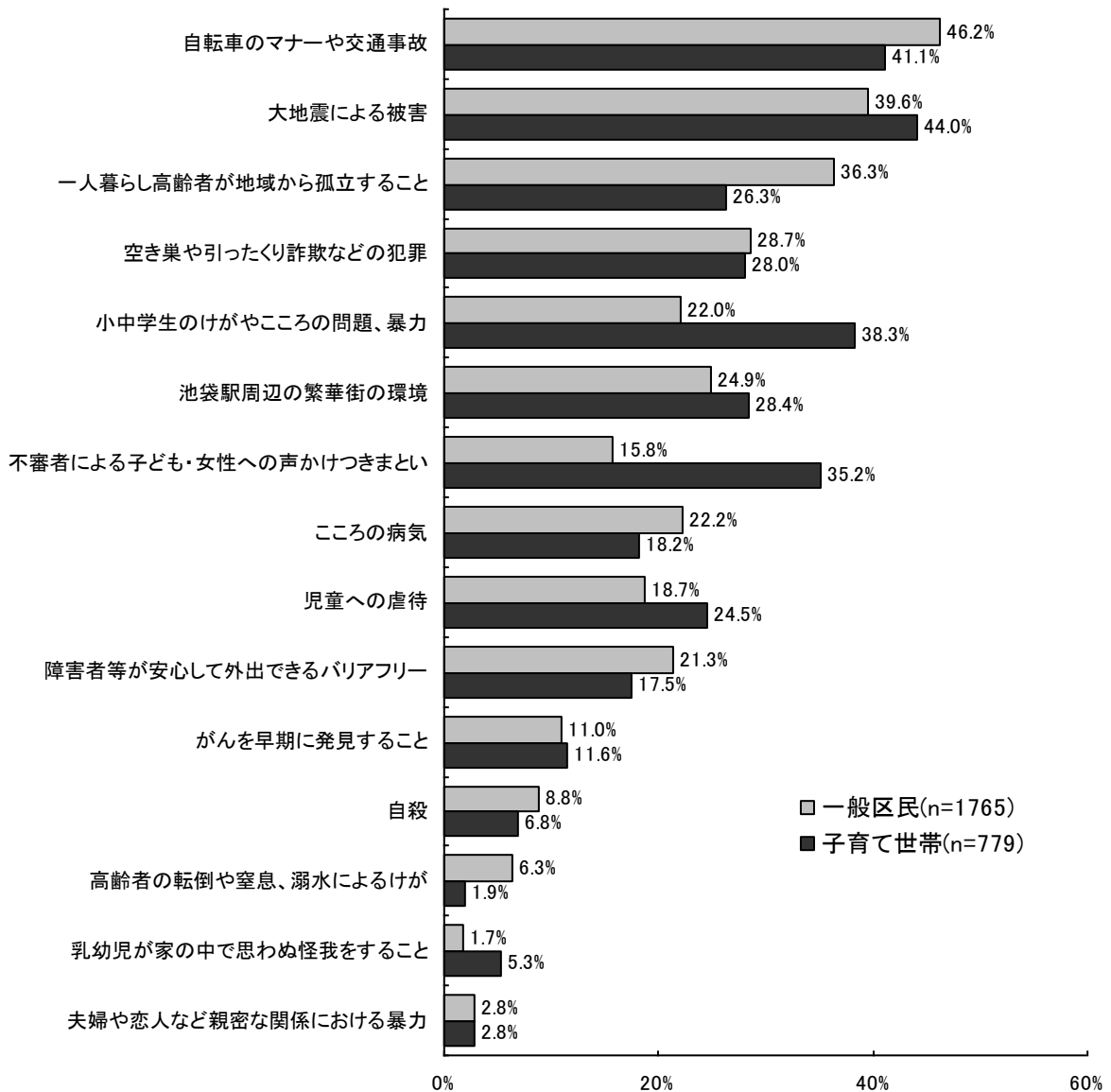


【一般区民と子育て世帯】の集計

- 「一人暮らし高齢者が地域から孤立すること」については、一般区民が子育て世帯を10ポイント上回っている。
- 子育て世帯が一般区民を10ポイント以上上回ったのは、「小中学生のけがやこころの問題・暴力」と「不審者による子ども・女性への声かけつきまとい」となっている。

問 2-2 これから先、特に改善が必要と感じることは、どのテーマですか(5つまで選択)

一般区民と子育て世帯の比較

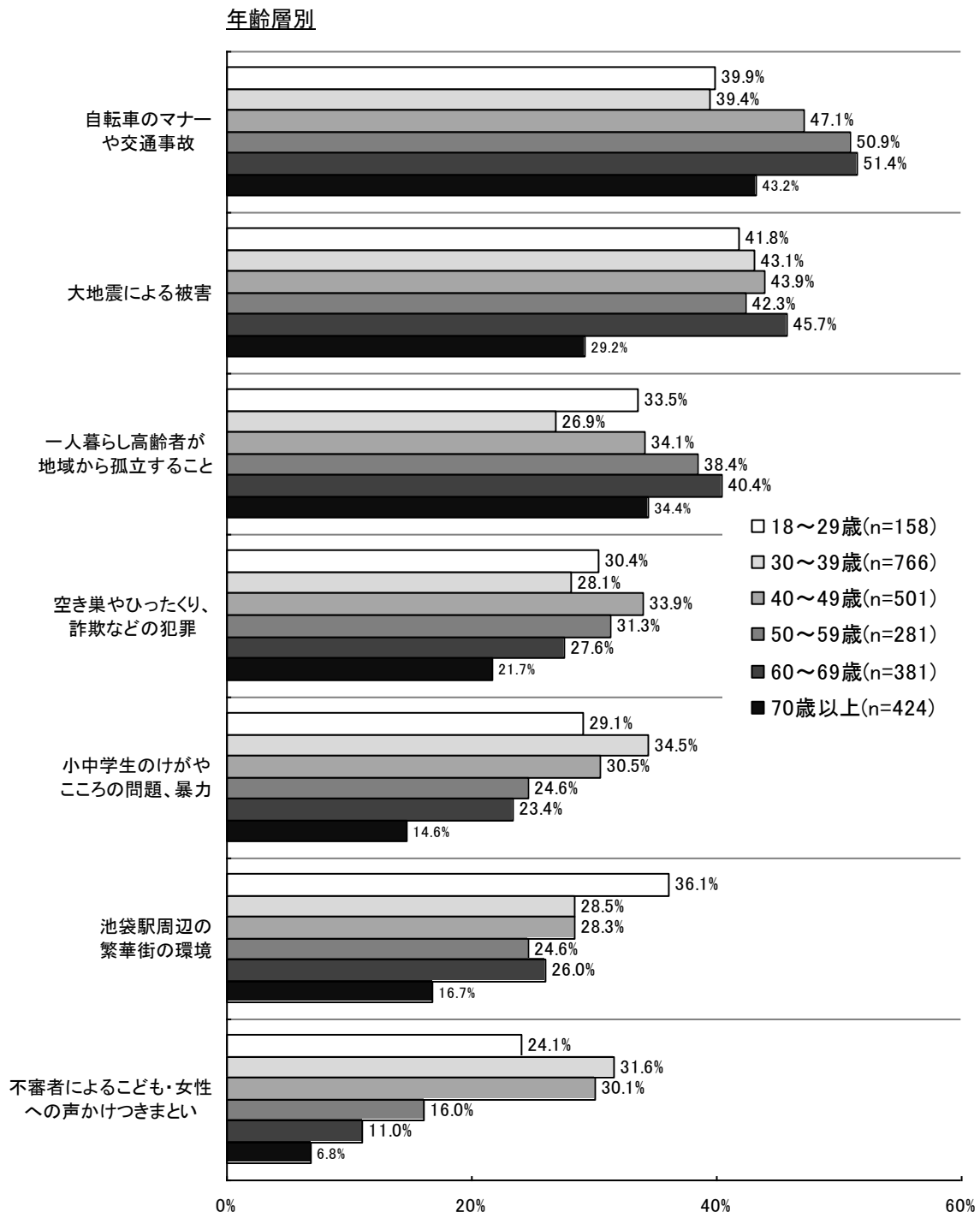


* 合計(一般区民+子育て世帯)のスコアが大きい順に並べた

【年齢層別】の集計

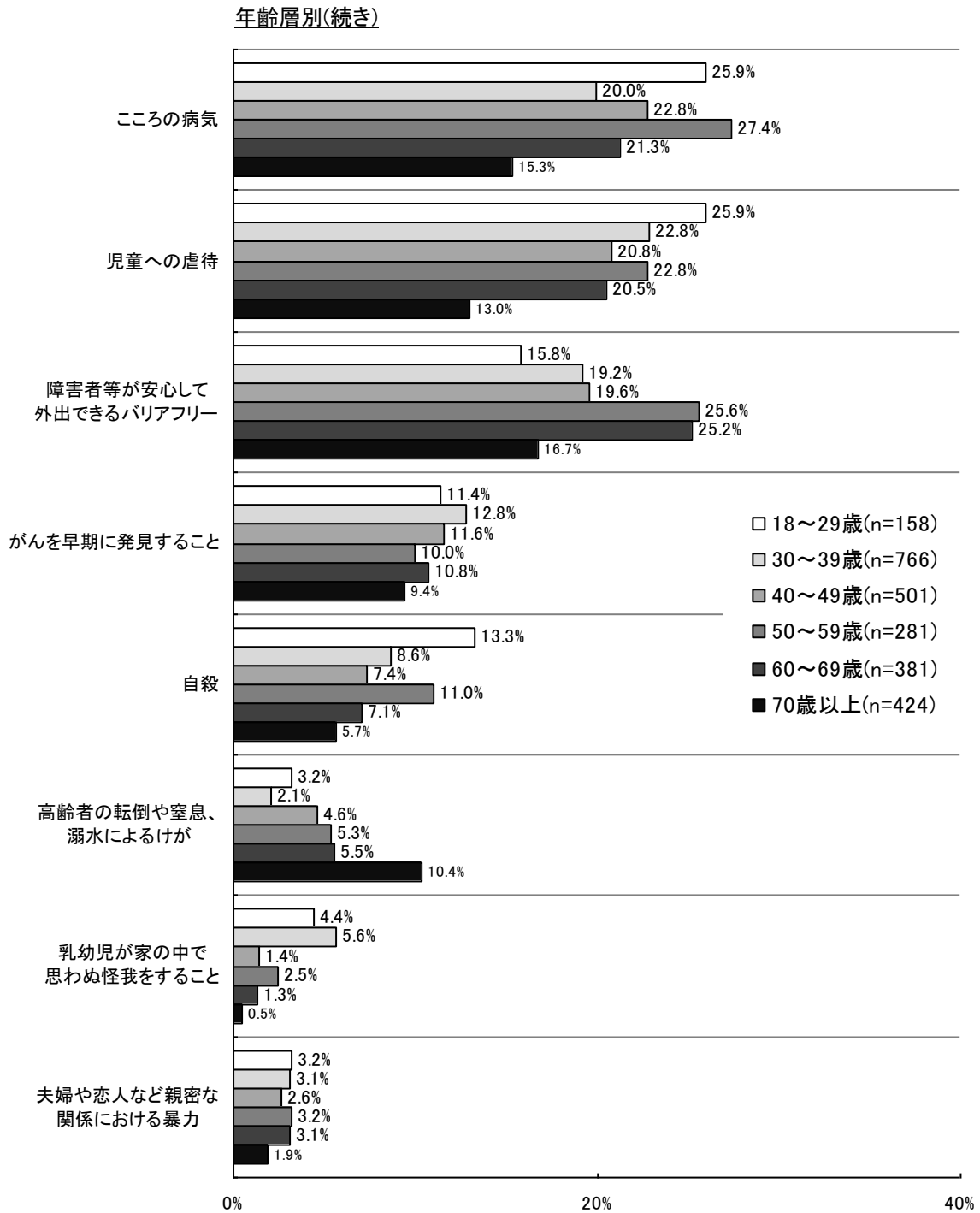
- 年齢層別では、「自転車のマナーや交通事故」について、40～60歳代のスコアが相対的に大きくなっている。
- 「一人暮らし高齢者が地域から孤立すること」「障害者等が安心して外出できるバリアフリー」については50～60歳代のスコアが大きくなっている。
- 「小中学生のけがやこころの問題、暴力」「池袋駅周辺の繁華街の環境」「不審者による子ども・女性への声かけつきまとい」については、40歳代以下のスコアが相対的に大きくなっている。

問 2-2 これから先、特に改善が必要と感じることは、どのテーマですか(5つまで選択)



* 合計(一般区民+子育て世帯)のスコアが大きい順に並べた

【年齢層別】の集計～前頁からの続き

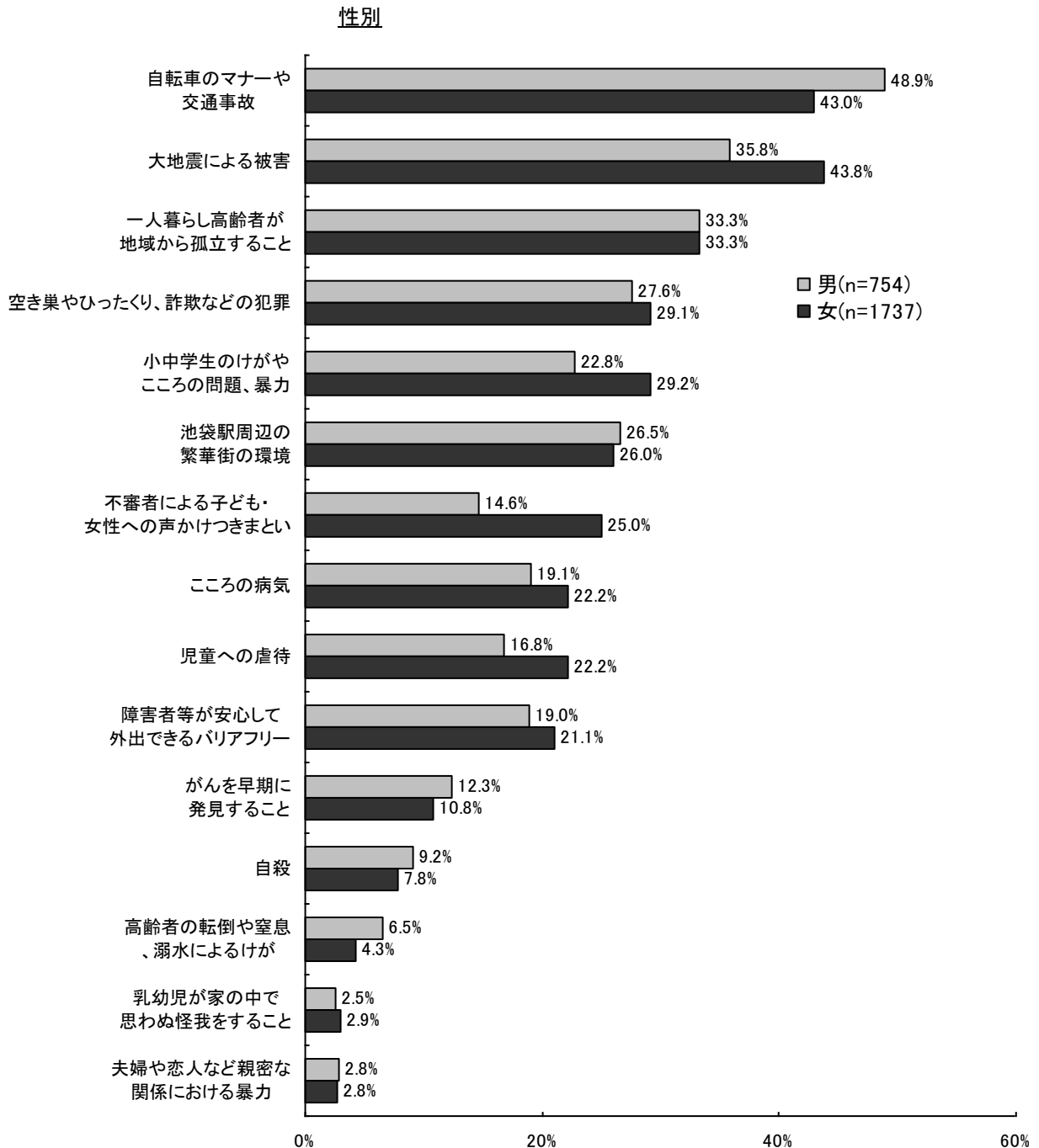


*合計(一般区民+子育て世帯)のスコアが大きい順に並べた

【性別】の集計

- 性別では、「大地震による被害」「小中学生のけがやこころの問題、暴力」「不審者による子ども・女性への声かけつきまとい」などについて女性のスコアが相対的に大きくなっている。

問 2-2 これから先、特に改善が必要と感じることは、どのテーマですか(5つまで選択)

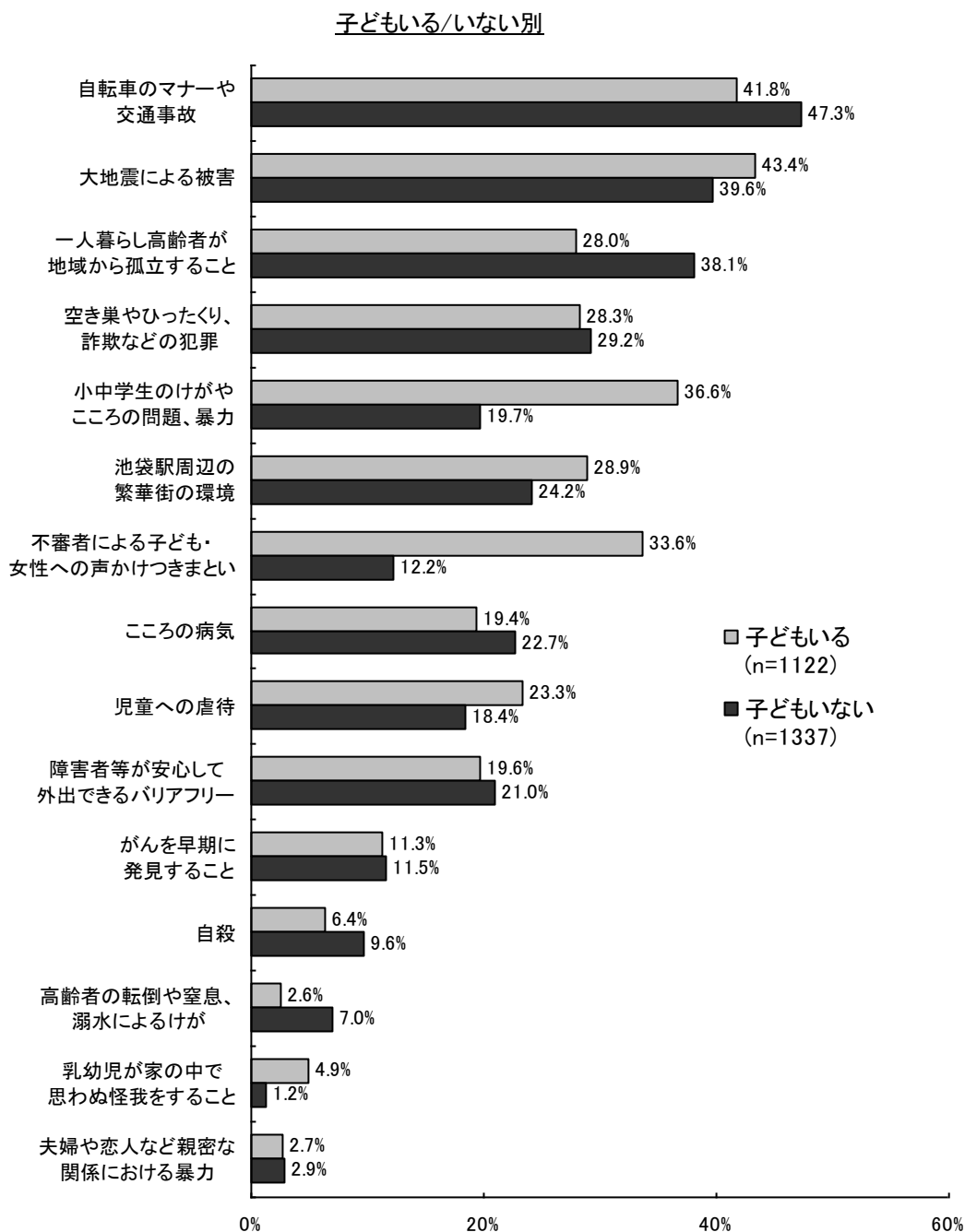


* 合計(一般区民+子育て世帯)のスコアが大きい順に並べた

【子どもいる/いない別】の集計

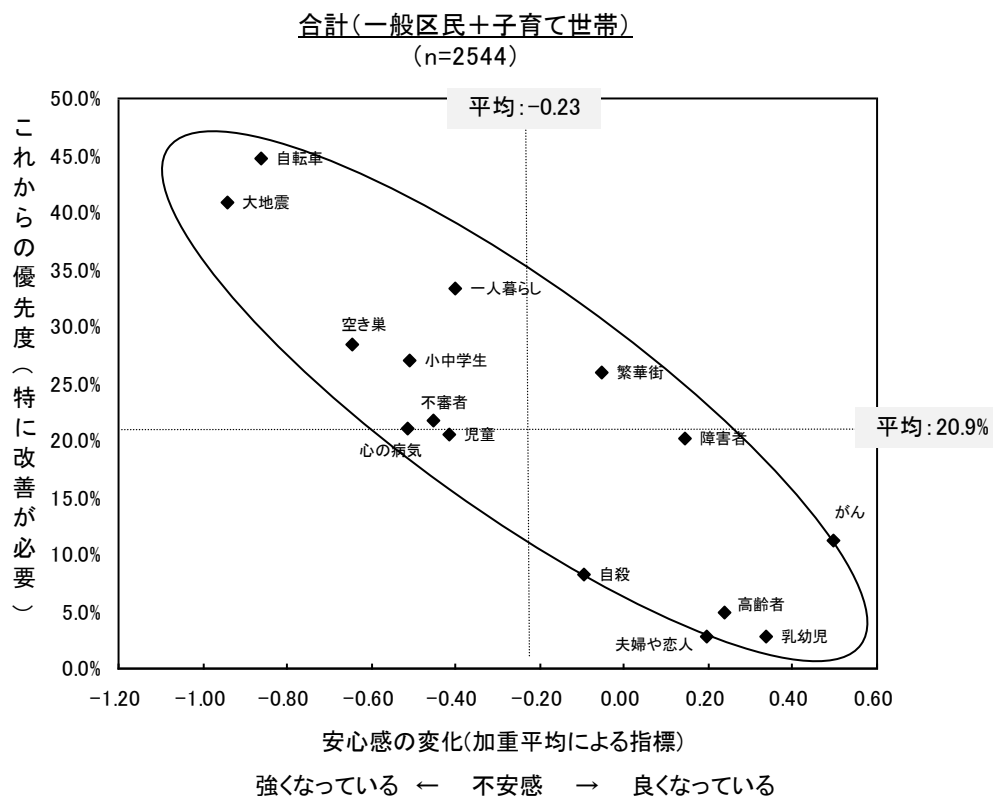
- 子どもいる/いない別では、とくに「小中学生のけがやこころの問題、暴力」「不審者による子ども・女性への声かけつきまとい」について“子どもいる”のスコアが“子どもいない”を大きく上回っている。

問 2-2 これから先、特に改善が必要と感じることは、どのテーマですか(5つまで選択)



4 問 2-3 安心感の変化とこれからの優先度のクロス評価

- セーフコミュニティ活動の重点テーマについて、横軸に「以前と比べてどのように変化していると感じているか」（問 2-1：安心感の変化）についての加重平均スコア、縦軸に「特に改善が必要」（問 2-2：これからの優先度）と答えた人の割合をとって散布図を作ったところ、概ね右肩さがりの領域に分布した。つまり、最近の評価が低い（不安感が強い）ほど、これから特に改善が必要と回答した人の割合が多くなっているという傾向を示している。



<加重平均について>

問 2 における加重平均値は、「良くなっている」を+2ポイント、「あまり変化ない」を+1ポイント、「少し不安を感じる」を-1ポイント、「強く不安を感じる」を-2ポイントとして、それぞれのポイントに回答数を掛け、その合計を回答実数で割って求めた。回答者全員が「良くなっている」と回答していれば 2.0 となり、逆に全員が「強く不安を感じる」と答えれば-2.0 となる。不安感の強弱を数値化して相対的に比較するために用いた。

図表中の略記	重点テーマ	図表中の略記	重点テーマ
高齢者	高齢者の転倒や窒息、溺水によるけが	心の病気	こころの病気
一人暮らし	一人暮らし高齢者が地域から孤立すること	がん	がんを早期に発見すること
障害者	障害者等が安心して外出できるバリアフリー	自転車	自転車のマナーや交通事故
乳幼児	乳幼児が家の中で思わぬけがをすること	空き巣	空き巣やひったくり、詐欺などの犯罪
小中学生	小中学生のけがやこころの問題、暴力	不審者	不審者による子ども・女性への声かけつきまとい
児童	児童への虐待	繁華街	池袋駅周辺の繁華街の環境
夫婦や恋人	夫婦や恋人など親密な関係における暴力	大地震	大地震による被害
自殺	自殺		

【年齢層別】の集計

- 年齢層別にみても、どの年齢層も、前項と同様に右肩下がりの傾向にある。
- 縦軸の「特に改善が必要」の平均値は“70歳以上”を除いて大きな差は無いが、年齢層が上がるほど横軸「最近の評価」の平均値が低くなっており、現状に厳しい見方をしていることがうかがえる。

